



わたしたちの 日本一美しい村

2016

広報

しらかわ

8月号
No.541

熱闘！ 第65回岐阜県消防操法大会



8月7日、第65回岐阜県消防操法大会が多治見市で開催され、南部分団が白川村代表として出場しました。
※詳細は4ページをご覧ください

CONTENTS

- 平成27年度下半期財政状況のお知らせ … 2・3
- 第24回参議院議員通常選挙結果報告 … 4
- コミスクだより … 6
- 広域連携による観光誘客のご紹介 … 9
- 地域おこし協力隊からこんにちは … 10・11





▲ふれあい体育館の屋根を改修しました



▲旧遠山家住宅を改修しました

○ 一般会計現計予算合計額 38億3,230万円

収 入			
区 分	現計予算額 (うち繰越明許費)	収入済額	収入率
村 税	7億1,517万円	6億9,585万円	97.3%
地方譲与税	2,100万円	1,535万円	73.1%
利子割交付金	40万円	36万円	90.0%
配当割交付金	100万円	42万円	42.0%
株式等譲渡 所得割交付金	10万円	0万円	0.0%
地方消費税 交付金	3,635万円	3,635万円	100.0%
自動車取得税 交付金	450万円	277万円	61.6%
地方特例 交付金	32万円	32万円	100.0%
地方交付税	12億2,764万円	12億2,764万円	100.0%
交通安全対策 特別交付金	10万円	0万円	0.0%
分担金及び 負担金	3,791万円	1,101万円	29.0%
使用料及び 手数料	1億1,301万円	1億1,394万円	100.8%
国庫支出金	(6,302万円) 3億3,812万円	3,873万円	11.5%
県支出金	(1,806万円) 1億5,233万円	(1,760万円) 6,805万円	44.7%
後期高齢者医療 広域連合支出金	33万円	0万円	0.0%
財産収入	1億4,207万円	7,475万円	52.6%
寄 附 金	1億7,726万円	1億7,430万円	98.3%
繰 入 金	0万円	0万円	
繰 越 金	1億6,995万円	1億6,995万円	100.0%
諸 収 入	(1,372万円) 1億6,931万円	(1,366万円) 5,973万円	35.3%
村 債	(1億6,230万円) 4億8,578万円	(1億6,400万円) 2億7,638万円	56.9%
合 計	(2億5,710万円) 37億9,265万円	(1億9,526万円) 29億6,590万円	78.2%

支 出			
区 分	現計予算額 (うち繰越明許費)	支出済額	執行率
議 会 費	3,664万円	3,626万円	99.0%
総 務 費	(1,810万円) 5億6,552万円	(1,610万円) 3億5,879万円	63.4%
民 生 費	(654万円) 3億1,318万円	(508万円) 2億1,680万円	69.2%
衛 生 費	2億8,883万円	7,026万円	24.3%
農林水産業費	(2,809万円) 2億6,088万円	(2,763万円) 2億4,192万円	92.7%
商 工 費	(5,379万円) 6億7,699万円	(5,376万円) 4億0,081万円	59.2%
土 木 費	(8,124万円) 4億0,616万円	(7,981万円) 2億2,487万円	55.4%
消 防 費	(1億0,898万円) 2億8,462万円	(1億0,898万円) 2億5,914万円	91.0%
教 育 費	3億8,399万円	2億4,891万円	64.8%
災害復旧費	4万円	2万円	50.0%
公 債 費	3億1,204万円	3億1,191万円	100.0%
諸 支 出 金	0万円	0万円	
予 備 費	3億0,341万円	7万円	0.0%
合 計	(2億9,674万円) 38億3,230万円	(2億9,136万円) 23億6,976万円	61.8%



最高の夕日と御来光をありがとう!



7月17日から18日にかけて毎年恒例となっている、村民対象白山登山「みんなで白山に登ろう!」が行われました。

案内は白山白川郷トレイルクラブが行い、24名が山頂を目指しました。

初日雨の中を、まるで修行をしているかのような気分で歩いた平瀬道登山道でしたが、夕刻の室堂平ではご褒美の雲海と夕日を眺めることができました。

二日目は朝3時に起床して山頂御前峰でご来光を全員で拝み、砂防新道で石川県側に抜けました。

更に、今回参加した11名の子ども達は「ふるさとカルタ事業」の一環として、白川村と白山とのつながりや歴史をガイドから教わりました。

また一つ地元白川村への思いが強くなったのではないかと思います。

(白山白川郷トレイルクラブ事務局：たぐち)

●お問合せ：白山白川郷トレイルクラブ事務局 ☎6-1185

旧花植家住宅通信

7月の旧花植家住宅は筑波大学世界遺産専攻の中国・台湾の留学生3人が滞在し、白川村内で職場体験(インターンシップ)を行いました。今回は試行的に荻町内の飲食店にて受け入れをお願いし、接客体験や店舗内の中国語メニューづくりを行い受け入れ店舗からもご好評をいただきました。インターンシップの間には自主的に合掌集落内のゴミ拾いもされていました。



ゴミ拾いの様子



サマースクールの様子

また、教育委員会主催の中学生向け学習支援「サマースクール」の講師をお願いした岐阜女子大学の学生4名も同じ時期に滞在し旧花植家から会場の総合文化交流施設まで毎日通い子供達に熱心に勉強を教えていただきました。滞在期間中は白川村青年会主催の「お楽しみ会」にも足を運び、地元青年達や地域の方々と交流を図り短期間の白川村生活を楽しまれました。

白川郷学園 コミスクだより

動きだそう！白川びととして
担い手となる子どもたち 担い手を育てる大人たち

白川郷学園学校運営協議会

体育大会に向けて地域の方と一緒に民踊練習



今年度の生徒会スローガンは「進歩」です。これまで築いてきた白川郷学園の取り組みを更に一歩前進していこうと、日々の学校生活のなかで児童生徒はいろいろな活動等を見つめ直し進歩に繋げています。そのひとつとして今年度から「運動会・体育祭」を「体育大会」と名称変更しました。これまで以上に更に小学生と中学生がひとつになり、同じ願いをもって熱く取り組んでいきたいという思いの表れです。

体育大会では、これまでと同様に地域との繋がりを深める「地域種目」と「こだいじん」が組み込まれています。その練習として、7月に2回民踊練習会が行われました。この日は地域の方が学園に足を運び、地区ごとに分かれて民踊を指導してもらいます。この取り組みは今年度で5回目となりますが、地域の方の温かい指導と児童生徒の真剣な姿は年々増しており、以前までは全く踊れなかった男子生徒が小学生に優しく教えている姿なども見られ、全児童生徒が伝統芸能継承者として一生懸命に取り組んでいます。

この民踊練習会は民踊を教えてもらうことが勿論一番の目的ですが、教えてくれる地域の方と顔見知りになり、地域のなかでも声をかけあっていける繋がりをつくれたらとも願っ

ています。児童生徒のなかには、指導者の方の名前や、どこの家の人なのかも全く分からない子もあり、練習会の最後に「〇〇さんのおばあちゃんですよ。」と紹介すると、自分から進んで名札を見せて自己紹介をする姿などが見られました。指導者の方は「〇〇さんのお孫さんやね。」と声をかけ、お互いにニコニコ笑顔で握手をしていました。

夏休みに入り、ラジオ体操のあとに民踊の練習をしている地区もあるようです。ぜひ多くの地域の大人で子ども達に関わっていただき、名前を呼んで声をかけあえる繋がりづくりができることを願っています。



白川郷学園体育大会

9月10日(土)開催

雨天時: 9月12日(月)延期

義務教育学校に向けて②

白川郷学園の児童会・生徒会の取組

義務教育学校では、これまで白川郷学園白川小・中学校が行ってきた保小中一貫教育のよさを引き継ぎ、白川村ならではの「オンラインワン」白川ブランド」教育を行っています。

さて、今月号では、子どもたちの組織である「児童会・生徒会」について紹介します。この組織は、学園で生活・学習する子どもたちを支えています。義務教育学校の設立を踏まえて、小中学校の「つながり」から「一体」へと新たな活動に取り組むなど工夫・改善と挑戦を進めています。

① 自分たちで考え行動すること(自立)で、よりよい学校生活を築く

児童会・生徒会活動の主な目標は、「望ましい人間関係をつくる」「よりよい学校生活づくり」に参画する「諸問題の解決に向け自主的に活動

する」です。これらの目標に向けて活動する中心が、児童会・生徒会の「執行部」と「各委員会」です。

白川郷学園では、昨年度まで、執行部や委員会の活動(日常活動から〇〇運動など)が、小中学校別々に行われてきました。今年度からは、小1から中3まで学園が一体となろうという考え方から、小中合同で執行部と委員会が結成されました。例えば、小中学校それぞれで行われていた「あいさつ運動」や「健康まつり」は、学園全体の取組となりました。小学校の教室に中学生が取組の説明に行く姿や共に協力して呼びかける姿がたくさん見られるようになりました。

こうして、小中学生が学園の児童生徒のための諸活動を、共に考え、共に行動することで、それぞれ関わる機会が増え、小中学校のつながり

もより強くなってきました。そして、中学生は、今まで以上にリーダーとして頑張り、小学生はその姿を見て、自分たちもこの学園を創り上げていく一員としての自覚が芽生えつつあります。

② 学園全体のチームワークを高め(共生)、仲間と関わり絆を深める(貢献)

六月下旬に学園では、運動会・体育祭に関わる「学園集会」が行われました。より一体感のある運動会・体育祭をめざし、この行事の名称や内容で変更したところなど、執行部から小1〜中3の児童生徒に提案したり、質問を受けたりする集会でした。この集会は、学園の児童生徒と教職員が時間や場所を共有しただけでなく、みんなと考え、よいものを創り上げようという同じ思いで参加していました。これは、生徒会長さんが、

「問題や課題にぶつかってきたとき、共に創り上げている思いで、何度も話し合う。」と語っていたように、執行部の熟議のすえの成果です。この様な姿・思いから、学園の児童会・生徒会は、集会活動を通してチームワークを高め、絆を深めているということが伝わってきました。



学園集会(運動会・体育祭について)の様子

と関わることで、常に心の中には白川の仲間がいる。自分の活動は、仲間のために行っていると思つてほしい。」と言つてみえます。義務教育学校に向けてこのような新たな挑戦は、学園の形だけではなく、子どもたちの思いやりの心や関わり合う大切さを育てているのです。

今年度、児童会・生徒会のスローガンは、「新歩」です。これは、昨年度と同じことをするのはなく、新しいことへの挑戦(一歩踏み出そう)という思いからです。それが、執行部や委員会、学園集会の工夫・改善につながっています。担当の先生が、「こうした委員会や集会で学園の仲間

七月上旬から「設立委員会」の各専門部会の活動が本格化しています。学校の組織や子どもたちに関わることを検討する「運営部会」、特色ある教育(生き方、ふるさと、英語)と保小中連携を検討する「教育課程部会」、学園経営を支える「予算・管理部会」です。これらの部会は、学園の先生方、保育園の保育士さん等で構成されています。さらに、ふるさと学習には、学校運営協議会の皆さんが中心的役割を果たしていただいています。こうして、義務教育学校の「かたちと内容」が、参加者の皆さんの英知で少しずつ創られています。次回は、「義務教育学校に向けて③」PTA・地域の関わり」についてです。